

## 第7回 尼崎市立中学校給食検討委員会次第

と き 平成 28 年 12 月 26 日 (月)  
午後 6 時 00 分～午後 8 時 00 分  
ところ 尼崎市役所 北館 4 階  
4-1 会議室

### 1 開 会

### 2 協議事項

(1) 第 6 回検討委員会議事要旨の確認

(2) これまでの協議内容を踏まえた給食実施にあたっての意見集約

- ① 望ましい中学校給食の実施に向けた方向性（素案）の修正
- ② 望ましい実施方式に関する各委員の意見(前回の検討委員会での意見まとめ)
- ③ 検討報告まとめ（案）

～「あまがさき」らしい中学校給食の実現を目指して～

### 3 事務連絡

(1) 次回の日程調整について

以 上

## 望ましい中学校給食の実施に向けた方向性について（素案）

### 1 学校給食の区分及び喫食形態について

- ・ 成長期にある中学生の心身の健全な発達には、望ましい食習慣の形成と栄養バランスに配慮した食事を摂ることが必要であり、そのためには、中学校において「完全給食」を実施することが望まれる。
- ・ 学校給食法に規定されている学校給食の目標や全ての児童生徒に対して実施するという学校給食実施基準の趣旨及び食育を推進する教育的観点を踏まえ、「全員喫食」による実施が望まれる。

### 2 安全・安心な学校給食について

- ・ 安全・安心な学校給食を提供するため、学校給食衛生管理基準を遵守した施設整備を行うとともに、中学校給食衛生管理マニュアルを整備するなどにより、作業手順の徹底を図り、万全な衛生管理を行うことで、異物混入や食中毒の防止を図ることが望まれる。
- ・ 食物アレルギー対応調理が高い水準で可能となるよう施設や設備の整備に配慮する一方で、中学校給食における食物アレルギー疾患対応マニュアルを整備し、適切な対応や誤配防止に配慮したきめ細やかな対応に努めるとともに、アレルギー対応食については、現在、本市の小学校給食で提供している内容と同水準の対応が望まれる。
- ・ 万全な衛生管理を行うとともにアレルギー対応の体制整備を図るため、栄養教諭等の適正配置や教職員への十分な研修の実施が望まれる。

### 3 学校給食の適温提供について

- ・ おいしい学校給食を実施するため、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく喫食できるよう適温で提供するとともに、本市の小学校給食が給食内容の充実等により、児童や保護者から高い評価を得ていることも踏まえ、中学校においても「尼崎らしさ」を示すことができる学校給食の提供に向けた工夫が必要である。

### 4 食育の推進について

- ・ 生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を習得することができるよう、学校給食を「生きた教材」として活用することが望まれる。
- ・ 調理員との交流の機会等の設定を通じて、食に関する感謝の気持ちを養うとともに、将来にわたり健全な食生活を営み、健康の保持増進を図っていくことを見据えた望ましい食育を効果的に推進することができる人的整備として、栄養教諭等の適正配置が望まれる。

## 5 学校運営・学校環境への影響の軽減について

- ・ 中学校給食の実施にあたり、学校運営や学校環境への影響を最小限にし、児童生徒の学習環境に支障が生じないように十分に配慮することが望まれる。
- ・ 学校給食関係車両の通行に対する児童生徒の安全確保について、十分な配慮が必要である。
- ・ 給食費の徴収や食物アレルギーの対応など、学校給食の実施に伴う新たな業務に対する教職員の負担軽減や不安解消を図るための方策の検討が望まれる。

## 6 学校給食の実施時期について

- ・ 可能な限り早期に学校給食が実施されることが望ましい。
- ・ 公平性の観点から、学校間に著しく実施時期の格差が生じないことが望ましい。

以 上

## 【望ましい実施方式に関する各委員の意見】（前回の検討委員会での意見のまとめ）

望ましい方式	その主な理由
給食センター方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの議論、尼崎市の現状を踏まえると給食センター方式が最適。</li> <li>・安全で安心な給食提供が第一。</li> <li>・課題を解消する工夫が必要。</li> </ul>
給食センター方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの協議、尼崎市の小中学校の現状を踏まえ、給食センター方式が最適。</li> <li>・いずれの方式でも今後、学校として取り組んでいく課題がある。</li> </ul>
給食センター方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で安心な給食提供、適温提供、同時期の実施が必要であり、そのためには給食センター方式が最適。</li> <li>・給食センターを活用した新たな食育の展開など、これまでにない新しいものに取り組む。</li> </ul>
給食センター方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの協議、とくに早期かつ同時期の実施と、小中学校の教育環境への影響を最小限にする観点から、給食センター方式が最適。</li> <li>・給食センターを活用し、中学校だけではなく尼崎市全体の食育に取り組む施設としての活用を行う。</li> </ul>
給食センター方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの協議を踏まえ、給食センター方式が最適。</li> </ul>
自校調理方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食センター方式から自校調理方式へと転換した自治体が掲げた、安全性や教育的観点等を総合的に考慮して、本市でも自校調理方式が最適。</li> </ul>
親子方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食の早期実現、尼崎市のおいしい小学校給食と同じ方式を望むが、尼崎市の現状を踏まえると小学校の給食室を活用して、近隣中学校の分を調理してもらう方式が望ましい。</li> </ul>
自校調理方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な項目の1～4を高いレベルで保つためには自校調理方式が最適。</li> </ul>
給食センター方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの協議を踏まえ、給食センター方式が最適。</li> <li>・給食センターで、食育を発信できるように活用を行う。</li> </ul>
給食センター方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの協議を踏まえ、給食センター方式が最適。</li> <li>・給食センターのメリットである集中管理による高い衛生管理が確保できるよう予算も確保していく必要がある。</li> </ul>
給食センター方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現実的には中学校の校舎の新築建替えなどが困難であり、これまでの協議を踏まえ、給食センター方式が最適。</li> <li>・給食センターを多くの人が活用できるなど何か違った展開もできることを望む。</li> </ul>